

あした
未来を創る。

塩竈市教育委員会 News

NO.12 2018.5月発行

【編集・発行】塩竈市教育委員会教育部教育総務課
〒985-0052 塩竈市本町1番1号
☎:022-362-7744 ファクス:022-365-3347
WEB版 配信中
<http://www.city.shiogama.miyagi.jp>

Report わくわく、どきどき。さあ、スタートだ ～ まちに、学校に、新しい風、風、風 ～

ようこそ塩竈へ

転入・新規採用の43人の先生が誓い

市内小中学校に新たに43人の先生が転入、着任。服務宣誓を行いました。その後、教育実践発表会やまちや歴史を学ぶ研修などが催され、本市での1日目スタートしました

(4月3日・遊ホール)

名前を呼ばれ起立する教員の皆さん→



佐藤市長から歓迎のあいさつ

瞳、まっすぐ

満開の下、市内小中学校で入学式

4月9日・10日は、市内小中学校の入学式。今年入学したのは小学校366人。中学校396人。市内小中学校12校の児童生徒の皆さんは3,600人余りとなりました(4月9日・第一小学校)



校庭の桜が満開

学校のユルキャラ紹介に緊張が解ける新一年生

ジャンプ課題で可能性に挑戦

「学びの共同体」研修会開催

本市独自の小中一貫教育をさらに進めるため市内全校の教職員を対象に研修会を開催。講師の佐藤学さん(学習院大学教授)が、学校・授業改革の理念や具体的な手法を講演しました

(4月11日・遊ホール)



佐藤氏の講義を熱心に受講する皆さん



問 学校教育課 ☎365-3216

Report 人生100年時代。学びの生涯現役を目指します

～総勢168人。『千賀の浦大学』が開講～



今年度の「千賀の浦大学」が開講しました。市民の皆さんから「千賀大」の愛称で親しまれている高齢者向けの生涯学習講座です。54期を迎える今年度の学生の平均年齢は79歳。最高齢は93歳。新たに25人の新入生を迎え168人が入学しました。1年間、様々なジャンルの学習に臨みます

(高らかに校歌を歌う皆さん 4月19日・エスポホール)

問 生涯学習センター(公民館) ☎365-3341

Report 音楽で「ありがとう」を伝えたい

～『一中&玉中ジョイントコンサート with 二中・三中』で感謝のパフォーマンス～



右・大河内さんに感謝の言葉と花束贈呈
左・迫力のある演奏で会場を魅了した四校合同演奏

市内中学校の吹奏楽部が一堂に会し、各校個性豊かな演奏を披露。毎年、学校に楽器をプレゼントしている大河内昭子さん（東京在住）を迎え、生徒の皆さんが心をこめて演奏しました（4月21日・遊ホール）

問 教育総務課 ☎362-7744

Report オリピック選手と笑顔で交流

～「オリピックデー・フェスタ In 塩竈」開催～



「大きいね」実寸の聖火台にびっくり

柔道や体操、水泳などオリンピック出場のアスリートの皆さんと市民の皆さんが「ふれあい運動会」で楽しく汗を流しました。場内には聖火台のレプリカも展示され、2020年の東京オリンピックを身近に感じるひとときになりました（3月24日・塩釜ガス体育館）



（上）東京五輪のフラッグに寄せ書き
（左）選手たちと鬼ごっこに興じる皆さん

問 生涯学習課 ☎362-1023

ちょっとだけ

Pickup 「しおがまチャレンジ教室」でがんばります！

4年目を迎える「チャレンジ教室」。当教室は東日本大震災の復興支援として東大寺（奈良市）からのご厚志で開設しています。今年度は市内中学生50人が登録。仲間と一緒に放課後の学習活動に1年間チャレンジします（開講式 4月20日 本町分室）

問 学校教育課 ☎365-3216



Movement ～5月の動き～

- 2日（水）学力向上プラン推進委員会■公民館
- 3日（木・祝）おやじバンドライブ■遊ホール
- 3日（木・祝）～小野幹写真展『昭和のしおがま』■市杉村惇美術館（本町分室）
- 5日（土・祝）市民図書館・エス臨時開館
- 12日（土）市P連総会■グランドパレス塩釜
- 12日（土）復興シャンソンコンサート■遊ホール
- 16日（水）全国都市教育長協議会理事会■一関市
- 17日・18日（木・金）同協議会総会■一関市
- 25日（金）教育委員会定例会■壱番館

○事業名・会場名は一部略称で表記しています。また予定は変更される場合があります。ご了承ください。

編集後記

■仕事帰りに「鹽竈神社・神々の花灯り」に立ち寄りました。境内の桜はちょうど見ごろ。ライトアップされた楼門や雅楽の音色が響き、趣があって素敵でした。塩竈の魅力をまたひとつ発見できました（ひ）

■桜前線が徒歩で北上し、満を持して開花するのは「鹽竈ザクラ」。豊かに花びらを蓄えた姿をカメラに収めていると「早稲（わせ）より晩稲（おくて）」。ふと、遠い日の祖母の一言を思い出しました（幹）